

のり海況速報 第11報 (27-11)

平成28年 2月19日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/18：内湾(ふさなみ)、2/16：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(2/6-19)、東京湾口海況図(2/6-19)
 自動観測ブイデータ(2/6-19)、拓南観測データ(2/16)
 モニタリングポスト(2/18：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温はほぼ全域で10～11℃台になっています。塩分は羽田沖でやや低いもののおおむね30～32台で、平年並みからやや高めでした(図1)。
- ・内房北部の表層水温は沖合水の影響によって14～16℃台になっています。新富津の一部から大貫ベタ流し漁場内まで16℃台の水塊がみられました。
- ・内房北部の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布でも、下洲付近の表層から底層まで水温16℃以上、塩分34.5以上の水塊が流入していました(図2)。

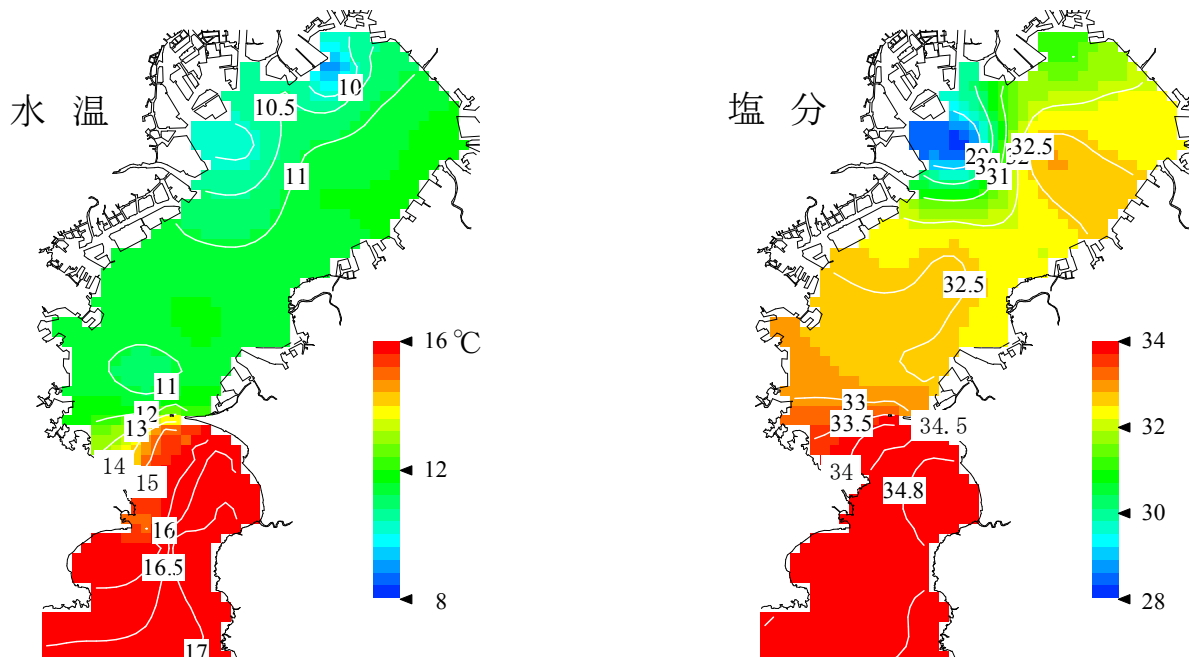


図1 表層の水温・塩分の分布(平成28年 2月16, 18日)

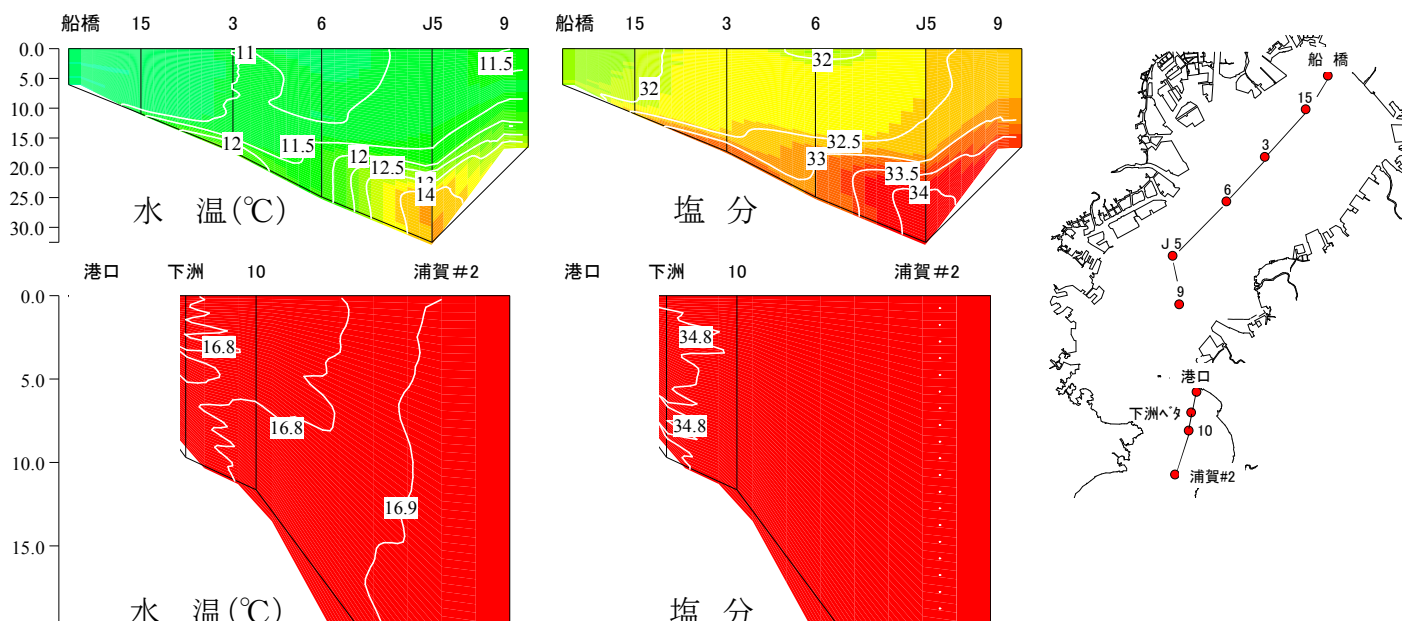


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成28年 2月16, 18日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は全域で発生していませんが、スケルトネマやキートケロスなどのケイ藻プランクトンが内湾で多くみられました。千葉北部地区ノリ漁場周辺ではpHが8.4とやや高く、水色はやや褐色を帯びていました。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)は内房北部で少なく、リン(D I P)は全域で少なくなっています。各地区ノリ漁場周辺ではノリの色落ち濃度を下回っていますので、注意が必要です。

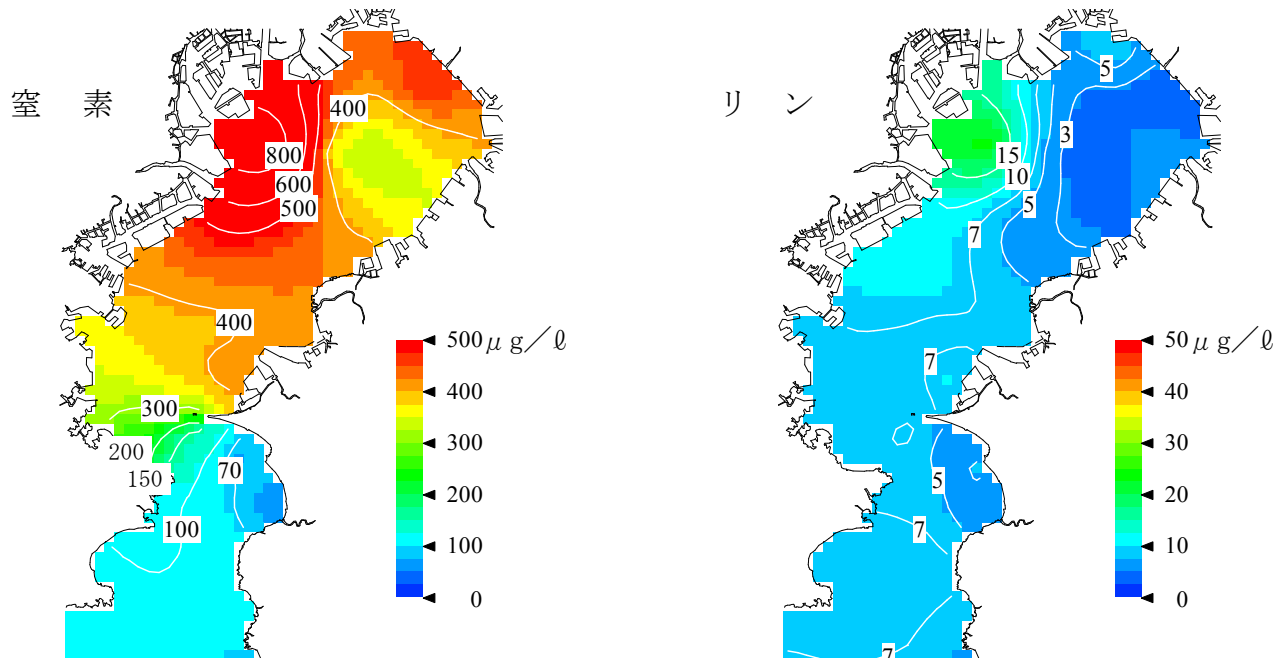


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成28年 2月16, 18日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html